

阿蘇カルデラツーリズム推進協議会（熊本県阿蘇市）

- 九州の中心部に位置する熊本県阿蘇市は、活火山とカルデラが育んだ唯一無二の自然環境の中で受け継がれてきた農耕文化と広大な草原空間を有する。
- 草原育ちの「あか牛」をはじめ、「阿蘇たかな漬」に代表される発酵食品や田楽等の料理などが、火山と人々の共生により育まれてきたユニークな食文化がある。
- 阿蘇の風土や食、人々の魅力を国内外に発信する「阿蘇テロワール運動」を推進。

【地域の食】



■ あか牛と田楽

草原で牧草を食べて育ったあか牛を中心に、里芋や厚揚げなどを、囲炉裏端で炭火で焼いて食す。



■ 阿蘇たかな漬

阿蘇高菜は、寒冷な気候と火山灰の大地が育む伝統野菜で、漬物は家庭や飲食店で広く親しまれている。

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	R4(現在)	R8
郷土料理提供店舗数(店)	18	22
飲食関係消費額(億円)	65	77
テロワールガイド数(人)	2	7

【周遊ルート】 千年の草原*の守り人になる！ 2日間

※千年の草原:約千年前の平安時代の法律書「延喜式」に草原の記載があることによる。

千年以上前から農家が実践してきた持続可能な農業と暮らし、自然への畏敬の念を感じる旅



阿蘇の野菜やあか牛等の農産品や漬物、味噌等の加工品、更には田楽等の料理が、阿蘇の人々の手によって育まれる現場を訪れ、生産者や料理人との交流を通して、阿蘇のテロワールを楽しむ。



阿蘇くじゅう国立公園や世界農業遺産、ユネスコ世界ジオパーク等に認定された阿蘇の草原やカルデラ地形をフィールドに、E-MTBサイクリングや乗馬等を通して、自らの身体を動かしながら阿蘇の魅力を体感する。また、地元の様々な食が楽しめる商店街散策や、国選択無形民俗文化財の「中江の岩戸神楽」のほか、国指定重要無形民俗文化財の農耕祭事など鑑賞する。